

事業テーマ：世界最先端の閉塞性睡眠時無呼吸症候群治療による社会課題解決

企業概要



きけがわ歯科医院
新横浜インプラント・矯正クリニック

開業以来、一般歯科から審美歯科、口腔外科まで幅広く質の高い治療を提供してきた。中でもインプラント治療を専門とし、神奈川県内に限らず多くの患者が訪れている。患者の話をよく聞き、不安を取り除き、どのような治療が最も良いのか、十分に時間をかけて説明を行うなど、患者に寄り添った治療を行なっている。

📍 きけがわ歯科医院

👤 院長 亀掛川博仁

📅 2006年5月

📍 〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-12-1
新横浜光伸ビル2F

👥 10人

💰 -

☎ 045-472-6868

🏥 医療業

▶▶ WEBサイト



取材の現場から

「マウスピースを作ったらそれで終わりではなく、定期的に通っていただきその方の状況に合わせた治療で治していくことが必要」と亀掛川院長は話す。患者のことを思い、院長を中心として、丁寧な説明や、カウンセリングなども含めて質の高い医療を提供している。



微調整可能なマウスピース



左上/院長の亀掛川博仁氏(右手前)とスタッフの皆さん 右/導入したCTレントゲン複合機 左下/一人一人に合わせた治療を行っている

治療方法の選択肢

これらの取組みを実現させるため、補助事業ではCT複合機及び、診断・治療計画をデジタル化するソフトを導入しました。高精度な3Dデータで口腔内を把握することで診断精度が高まり、治療計画を立てやすくなりました。この点が大きな成果と考えています。歯科技工所ともデジタルデータでマウスピースの形などのやりとりができるため生産性が高まりました。

治療期間中、患者さんには検査キットを貸し出し、いびきや脈拍の状態などから睡眠状態を評価することで最適なマウスピースの形を検討し効果を最大化しています。

睡眠時無呼吸症候群という病気そのものは鉄道事故の影響などもあり以前に比べて知られてきていますが、治療法まではご存知ない方が多いのではないのでしょうか。そのためセミナーを開催したり、様々な形で情報発信して啓発に努めています。睡眠時無呼吸症候群の治療方法として、自費診療でより高いレベルの治療もできるということをより多くの人に知っていただきたいと考えています。

事業者名：きけがわ歯科医院

事業年度：平成29年度

Case

7

革新的サービス

患者の状態に合わせた高度な治療を実現するための取組み

肥満男性だけではなく、「下顎が小さい・小顔」「歯並びが悪い」「舌や舌の付け根が大きい」といった人でも発症することがあるという睡眠時無呼吸症候群。一人一人原因や状況が異なる中で、高度な治療を行うため、本事業にて設備投資を行なった。

患者に寄り添った治療

従来から軽〜中等度の睡眠時無呼吸症候群の保険治療には、マウスピースが利用されてきました。このマウスピースは就寝中の軌道を確認するため、下顎を少し前に突き出す形で製作しますが、上の歯と下の歯のマウスピースが固定されているため、自由に動かすことができず、一時的に噛み合わせが変わってしまったり、人によっては痛みが出ることもありましたが、治療の進行度によって微調整をすることもできませんでした。保険適用により患者の費用負担は安く抑えることができますが、その反面、一人一人にあった最適な治療を行うことができません。自身の経験からも何とかこの問題を解決したいと思い、上の歯と下の歯が固定されないマウスピースの製作を決定しました。このマウスピースは自費診療となりますが、ネジで0.1mm単位の微調整が可能で、治療の進捗度合いに合わせてその都度形を変えることができます。また、患者さん自身で調整もできます。